

自然観察会報告
安倍川河口の野鳥観察会
横山謙二



チョウゲンボウ



ミサゴ

平成27年12月20日(日)に、安倍川河口で、野鳥の観察会を行いました。今回観察会を行った河口の環境は、海と平野(河川・湿地)で見られる野鳥が両方見られる場所で、観察会を行った安倍川河口は、市街地から近く、一年を通して、いろいろな野鳥が観察できます。観察会の3週間ほど前には、ハジロカイツブリやカンムリカイツブリ、ハヤブサが見られました。

観察会を開始してすぐに、集合場所の風力発電風車近くの駐車場付近で、チョウゲンボウが見られました。チョウゲンボウは、近くにとまり、あまり動きません。おかげで、いい写真が撮れました。その後も、チョウゲンボウは、何回か飛来し、近くで見ることができました。

次に、海岸線沿いを歩き、河口に向かいました。河口では、カモの仲間のコガモ、カルガモ、オオバン、カモメの仲間のユリカモメ、ウミネコ、セグロカモメ、またカワウやダイサギ、コサギなどがあちらこちらに見られました。そして、ときおりミサゴが飛来し、川にダイブして魚を捕まえている様子も見られました。ミサゴは、最近、増えてきたのか、ここ安倍川河口でも良く見かけるようになってきています。この日も観察会後に、河原で観察を続けていると、何度も飛来し、中洲にありて止まるところも見ることができました。



鳥を観察する参加者

その他、河口ではシギの仲間のハマシギやイソシギ、セキレイの仲間のハクセキレイが見られました。

次に、河口から上流方向に、進みました。河原でススキなどが繁茂するところでは、ホオジロやジョウビタキ、メジロ、カワラヒフ、モズなどが、河川敷の中島浄化センターの池では、カルガモが観察できました。

観察会は、その後、浄化センターの北側を通り、駐車場にもどり終了しました。今回の観察会では、30種類ほどの野鳥を観察することができました。今回は冬季の観察会でしたが、これから春になるとコアジサシが、春夏になるとセッカなども観察できます。また2年前には、クロハラアジサシが観察されたこともあります。